

河川

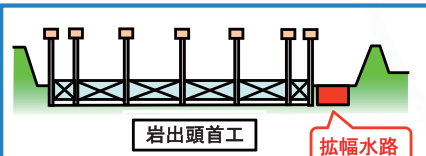
河川事業（10水系：新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、加古川水系、揖保川水系、円山川水系、由良川水系、北川水系、九頭竜川水系）
 ダム事業（3箇所：大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、足羽川ダム）
 地すべり対策事業（1箇所：亀の瀬地区）
 砂防事業（4箇所：木津川水系、六甲山系、九頭竜川水系、紀伊山地）
 海岸事業（1箇所：東播海岸）

国民の安全・安心の確保

地域の活性化を支援する治水対策の推進

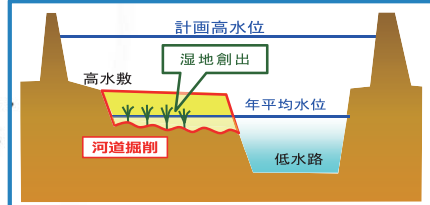
河川整備による治水安全度の向上により、地域の活性化を支援します。

■岩出狭窄部対策（紀の川水系紀の川）



【整備効果】
 岩出頭首工の横に新たな拡幅水路を整備することで、岩出市、紀の川市等の浸水被害の軽減を図ります。

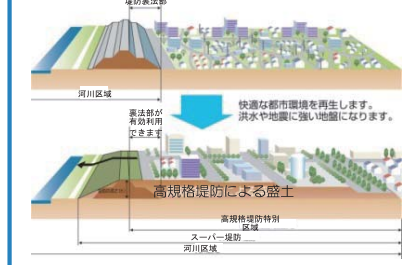
■日野川水防災・湿地創出事業（九頭竜川水系九頭竜川）



【整備効果】
 河道掘削にあわせて、多様な生物の生息・生育の場の創出を行います。

■淀川高規格堤防整備事業（淀川水系淀川）

【整備効果】
 淀川の高規格堤防による新たなまちの創出します。



南海トラフ巨大地震対策等の推進

地震や津波の被害を防止・軽減するため、堤防や水門・樋門の耐震化を行っています。



ミスベリング・プロジェクト

水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していきます。



水害土砂災害対策

洪水被害から流域住民の暮らしを守るダム事業

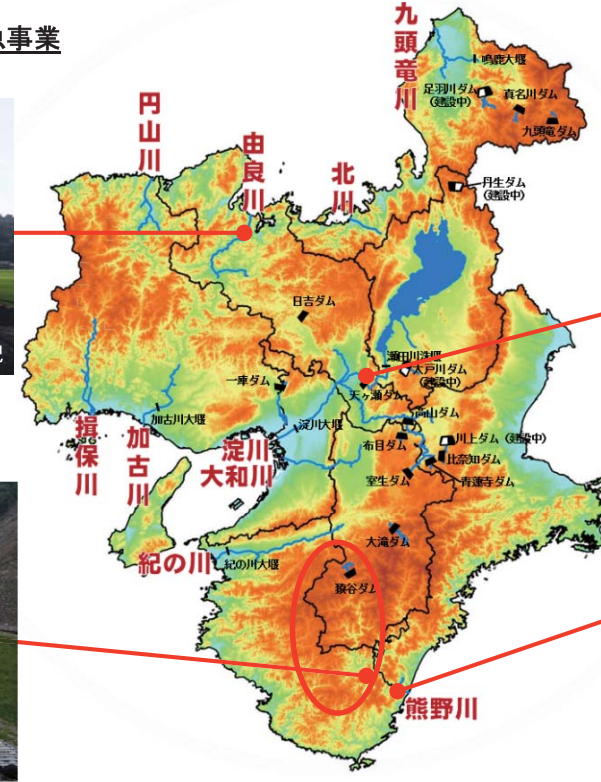
近年頻発している水害・土砂災害を踏まえ、緊急的な治水対策を実施するとともに、未然に被害を防止・軽減するための予防的な治水対策を実施しています。

■由良川 床上浸水対策特別緊急事業

■由良川 緊急的な治水対策



■紀伊山地特定緊急砂防事業



■天ヶ瀬ダム再開発事業



■熊野川河川激甚災害対策特別緊急事業



「水防災意識社会」の再構築に向けた取組

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、直轄河川とその沿江市町村において、水防災意識社会を再構築する取組を今後5年間で実施します。

<ソフト対策>

住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策>

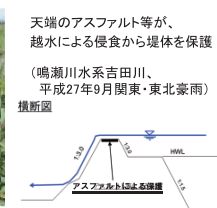
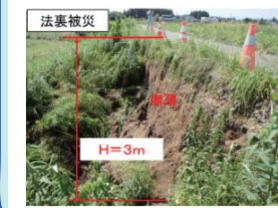
「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を約150km区間において実施。



<危機管理型ハード対策>

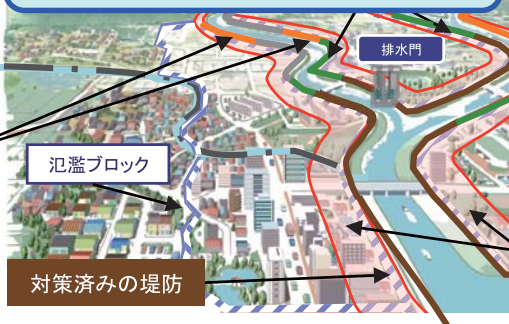
○ 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
 いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫（対策例）>



<洪水を安全に流すためのハード対策>

○ 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施



<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供

家屋倒壊危険区域※

河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域